

A825

KSNA825-A1808

セイコーウォッチ株式会社

# SEIKO

## 取扱説明書

### INSTRUCTIONS

A825 デジタルウォッチ

#### T-5

この度は弊社製品をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、  
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

- ※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。  
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、  
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは  
お取扱いただけない場合があります。
- ※ 商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。  
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、  
水分などが付着してさび発生の原因となります。

## 目次

### 1. この製品について

製品取扱上のご注意	4
特長	8
ロータリースイッチによるモードの切替	9
ボタンの名称	10
この製品でできること	11
各種マークの説明	13

### 2. 時刻・カレンダーモード

時計・カレンダーモードの使いかた	14
(1) ボタンの名称とはたらき	14
(2) 時刻・カレンダーの合わせかた	15
(3) アラーム首の試し聞き、時報/ 操作確認音の設定と解除のしかた	17

### 3. アラームモード

アラームモードの使いかた	18
(1) ボタンの名称とはたらき	18
(2) アラームの使いかた	19
(3) アラームを鳴らしたい場合、 鳴らしたくない場合	20
(4) 鳴っているアラームを止めるには	20

### 4. ストップウォッチモード

ストップウォッチモードの使いかた	21
(1) ボタンの名称とはたらき	21
(2) 計測単位について	22
(3) ストップウォッチの使いかた	23
1) 積算タイムの計りかた	23
2) 1位と2位のタイムの計りかた	24
3) スプリットタイム(途中経過時間) の計りかた	25

### 5. タイマーモード

タイマーモードの使いかた	26
(1) ボタンの名称とはたらき	26
(2) タイマー時間の設定のしかた	27
(3) タイマーのスタート/ストップ/ リセットのしかた	28
(4) 減算の終了/リピート機能	28

### 6. タキメーターモード

タキメーターモードの使いかた	29
(1) ボタンの名称とはたらき	29
(2) 走行距離の設定のしかた	30

1) 7種類のプリセット距離から 選択する場合	30
2) 任意の距離を設定する場合	30
(3) タキメーターの使いかた	31
1) 走行時間と平均速度を計測する	31
2) 往路・復路それぞれ、および 往復の走行時間と平均時速を 計測する	32
3) 周回レースの各ラップおよび レース全体の走行時間と 平均速度を計測する	34
(4) エラー表示について	36

### 7. ご注意いただきたいこと

お手入れについて	37
防水性能について	38
性能と型式について	40
バンドについて	41
電池についてのお願いとご注意	43
アフターサービスについて	45

### 8. 困ったときは

こんなときは	48
システムリセットのしかた	51

### 9. 製品仕様

製品仕様	52
------	----

## 製品取扱上のご注意

### 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

#### ・次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

#### ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。  
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

#### ・時計から電池を取り出さないでください

電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。  
電池は充電しないでください。  
破裂・発熱・発火などのおそれがあります。

### 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

#### ・以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
  - 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
  - 高湿度なところ
  - 磁気や静電気の影響があるところ
  - ホコリの多いところ
  - 強い振動のあるところ
- ※ 電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。

#### ・アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

#### ・その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。  
手や指などにけがををする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。  
けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。  
衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

## 警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイブズウォッチをご使用ください。

## 注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

## 注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

## 特長

### ■ロータリースイッチによるモード変更

回転ベゼルの回すことにより使いたいモードが簡単に選択できます。

### ■時刻・カレンダー機能

2018年～2067年のフルオートカレンダーです。12/24時間制の切替ができます。

### ■タキメーター機能

設定した距離を走行するのに要した時間から、平均時速を計算し表示します。サーキットレースでは、ラップタイムの計測が可能で、ラップ速度と周回数を表示します。走行距離は、7種類のプリセット距離から選択することも、任意の距離を設定することもできます。

### ■ストップウォッチ機能

1/100秒単位 (60分経過後は1秒単位) で最大99時間59分59秒まで計測でき、途中のスプリットタイムが計測できます。

### ■タイマー機能

1分単位で最大99時間59分まで設定できます。設定時間の減算の終了と同時に新たな減算を開始するリピートタイマーです。

### ■アラーム機能

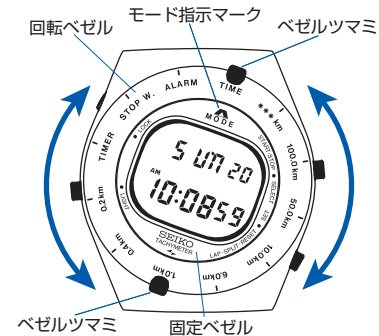
毎日設定した時刻にアラームを鳴らすデイリーアラームです。

### ■パネライト (内部照明)

専用のボタンを押すと、ライトが3秒間点灯します。

## ロータリースイッチによるモードの切替

- ・ 2箇所のベゼルツマミを持ち回転ベゼルの回し、回転ベゼル上のモード名を内側の固定ベゼル上のモード表示マーク (▲) に合わせることで、モードを切り替えます。
- ・ 回転ベゼルの回しは、左右どちらにも回すことができます。

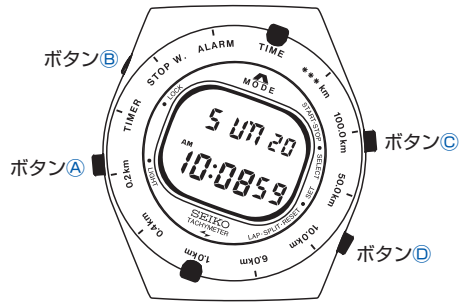


## 【ご注意】

回転ベゼルとケースのすきまに砂や泥などが入り、回転が重くなる場合があります。時計に砂などがついた場合は、容器にためた水道水できれいに洗い流してください。

## ボタンの名称

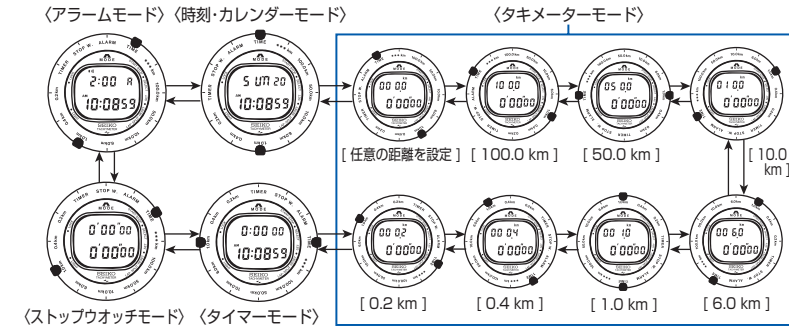
- ・ボタンの名称は、左下から時計回りにボタンA～ボタンDと割り振られています。
- ・各ボタンの近くの固定ベゼル上には、そのボタンの主な機能を表記しています。



※各表記やデザインはモデルによって異なる場合があります。

## この製品でできること

- ・回転ベゼルの回し、回転ベゼル上のモード名を内側の固定ベゼル上のモード表示マーク (▲) に合わせることで、モードを切り替えます。ベゼルは左右どちらにも回すことができます。



- ・どのモードでもボタンAを押すと、パネライト (内部照明) が3秒間点灯します。

回転ベゼル上表示	機能	参照ページ
時刻・カレンダーモード	TIME ・時刻・日付・曜日の設定と表示 ・カレンダー設定範囲: 2018年～2067年 ・時報/操作確認音の設定、アラーム音の試し聞き	P. 14
アラームモード	ALARM ・毎日設定時間に鳴るデイリーアラーム ・アラームのON/OFFが設定可能	P. 18
ストップウォッチモード	STOP W. ・1/100秒単位 (60分経過後は1秒単位) で最大99時間59分59秒計測 ・途中のスプリットタイムを取得可能	P. 21
タイマーモード	TIMER ・1分単位で最大99時間59分まで設定可能なカウントダウンタイマー ・設定時間の減算を終了すると同時に新たな減算を開始し、タイマーをストップするまで繰り返すリピートタイマー	P. 26
タキメーターモード	7種のプリセット距離および任意の距離 (***) km ・設定した距離の走行に要した時間から時速を計算 ・走行距離は、プリセット距離から選択することも、任意の距離を設定することも可能 ・ラップ機能により、最大99ラップまで、ラップタイム、ラップ速度とラップ回数を表示 ・全ラップの平均速度を表示	P. 29

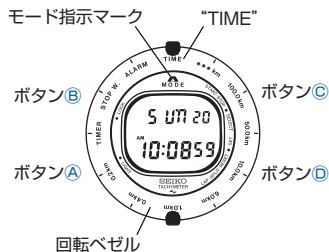
## 各種マークの説明

- AMPM** [AM/PM マーク] : 現在時刻が12時間制で表示されているとき、表示されます。
- km** [距離マーク] : タキメーターモードで、走行距離を示します。
- km/h** [時速マーク] : タキメーターモードで、時速、平均時速を示します。
- COUNT** [ラップ回数マーク] : タキメーターモードで、ラップ機能使用時にラップ回数を示します。
- LAP** [ラップマーク] : タキメーターモードで、ラップタイム計測後、次のラップタイムを計測中のとき点滅します。計測ストップ中は点灯します。
- !** [アラームマーク] : アラームの設定がONの時、点灯します。
- !** [時報マーク] : 時報/操作確認音の設定がONの時、点灯します。時報/操作確認音がONの時は毎正時に報時します。

## 時刻・カレンダーモードの使いかた

### 2 (1) ボタンの名称とはたらき

時刻・カレンダーモード  
・回転ベゼルの回し、「TIME」をモード指示マーク(▲)に合わせて、時刻・カレンダーモードに切り替えてください。上段に「曜日」と「日」、下段に「現在時刻」を表示します。



ボタンA: バネライト (内部照明) の点灯  
 ボタンB: 時刻・カレンダー合わせ状態の呼び出し/解除  
 ボタンC: 修正箇所を選択  
 ボタンD: ・修正箇所の合わせ  
 ・報時・操作確認音の設定/解除  
 ボタンC/D同時長押し: アラーム音の試し聞き

14

3 ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」に合います。  
 ※秒表示が30～59秒の時、ボタンDを押すと1分繰り上がって「00」に合います。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービス (TEL.117) が便利です。

4 ボタンCを押して合わせたいところを選択した後、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。  
 ※ボタンDを長押しすると早送りができます。  
 ※12/24時間制の設定の場合は、ボタンDを押すごとに12時間制と24時間制が切り替わります。

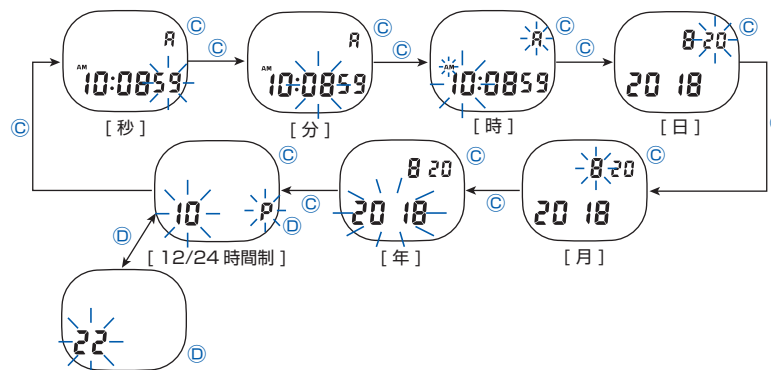
5 「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを押してください。修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」へ戻ります。忘れた場合でも3～4分で「時刻・カレンダー表示」に自動的に戻ります。

※カレンダーはフルオートカレンダー機能を搭載しています。2018年から2067年までの年・月・日・曜日がプログラムされていますので、この間は月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。  
 ※時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。  
 その場合はいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。次に改めて、(2)の①から合わせなおしてください。

16

### (2) 時刻・カレンダーの合わせかた

① ボタンBを押すと「時刻・カレンダー合わせ」状態になり、「秒」が点滅します。  
 ② ボタンCを1回押すごとに下図の順序で合わせたいところ (点滅) を選ぶことができます。



※「曜日」は、年月日をセットすると、自動的に設定されます。

時刻・カレンダーモード

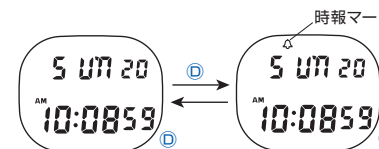
15

### (3) アラーム音の試し聞き、時報/操作確認音の設定と解除のしかた

● 「時刻・カレンダー表示」でボタンCとボタンDを同時に押し続けると、アラーム音の試し聞きができます。押し続けている間、アラームマーク(▲)が点滅します。



● 「時刻・カレンダー表示」でボタンDを押すごとに、時報/操作確認音の設定と解除ができます。設定されているときは、時報マーク(▲)が点灯します。  
 ※時報/操作確認音が設定されている場合は、どのモードでも時報マーク(▲)が表示されます。



[ 時報/操作確認音がOFF ] [ 時報/操作確認音がON ]

時刻・カレンダーモード

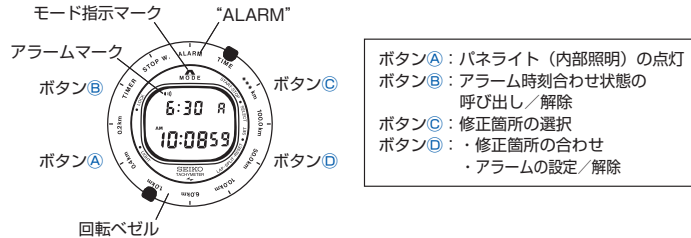
17

## アラームモードの使いかた

- ・指定した時刻(時・分)に毎日報知するデイリーアラームです。
- ・アラームの設定/解除の切り替えができます。

### (1) ボタンの名称とはたらき

- ・回転ベゼルを回し、“ALARM”をモード指示マーク(▲)に合わせて、アラームモードに切り替えてください。上段にアラーム時刻を、下段に「現在時刻」を表示します。
- ※アラームが設定されている場合は、アラームマーク(■||)が表示されます。

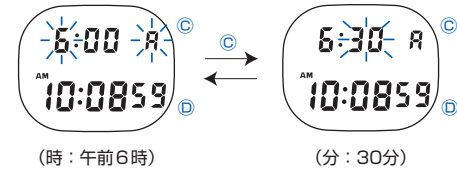


18

## (2) アラームの使いかた

例: アラーム時刻を「午前6時30分」に合わせる場合

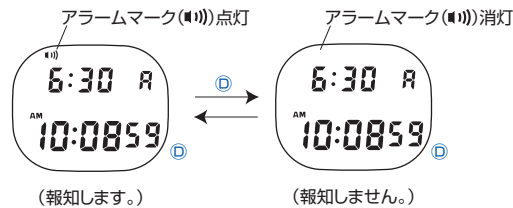
- ① ボタンBを押すと「アラーム時刻合わせ」状態になり、「時」が点滅します。  
 ※「時刻・カレンダー表示」が12時間制に設定されている場合、「時」と“A”(午前)または“P”(午後)が点滅します。
- ② ボタンCを押すごとに、「時」と「分」が交互に点滅表示となります。  
 合わせたいところ(点滅)をボタンCで選択してください。
- ③ ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。  
 ※ボタンDを長押しすると早送りができます。
- ④ アラーム時刻合わせが終わりましたら、ボタンBを押して「アラーム時刻合わせ」状態を解除します。忘れた場合でも3~4分で「アラーム表示」に自動的に戻ります。  
 ※「アラーム時刻合わせ」状態を解除すると、アラームが自動的に設定され、アラームマーク(■||)が表示されます。



19

## (3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合

- ・「アラーム表示」でボタンDを押すごとにアラームの設定と解除ができます。
- ※アラームを設定すると、アラームマーク(■||)が点灯します。
- ※アラームが設定されている場合は、どのモードでもアラームマーク(■||)が表示されます。



## (4) 鳴っているアラームを止めるには

- ・アラームは指定した時刻になると、20秒間鳴り続けます。
- 鳴っているアラームを途中で止めたい場合は、いずれかのボタンを押すか、回転ベゼルを回して他のモードに切り替えてください。

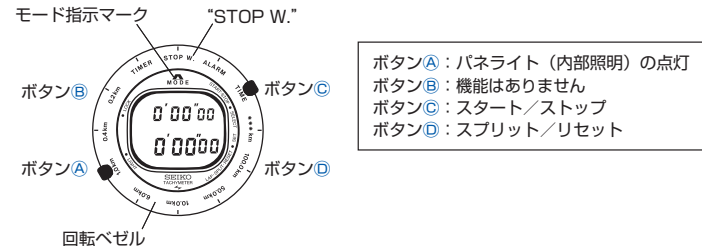
20

## ストップウォッチモードの使いかた

- ・1/100秒単位で60分まで計測したのち、1秒単位で最大99時間59分59秒まで計測します。
- ・スプリットタイム(途中経過時間)を計測します。

### (1) ボタンの名称とはたらき

- ・回転ベゼルを回し、“STOP W.”をモード指示マーク(▲)に合わせて、ストップウォッチモードに切り替えてください。上段に「スプリットタイム」を、下段に「積算タイム」を表示します。



ストップウォッチモード

21

**【ご注意】**

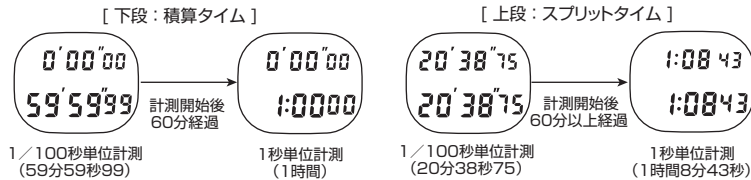
ストップウォッチ計測中に、回転ベゼルを回して時刻・カレンダーモード、アラームモード以外のモードに切り替えますと、計測したスプリットタイムと積算タイムがリセットされ、ストップウォッチモードに戻ったとき、上段と下段の表示がともに「0' 00" 00」となります。時刻・カレンダーモードまたはアラームモードに切り替えた場合は、計測したスプリットタイムと積算タイムは保持されており、ストップウォッチモードに戻ると、計測が継続されます。

4

**(2) 計測単位について**

上段のスプリットタイムと下段の積算タイムは、ともに計測スタートから60分までは1/100秒単位で計測され、その後は1秒単位で計測されます。計測単位を示す記号にご注意ください。計測時間は、1/100秒単位計測では [ 0' 00" 00 ] の形式で、1秒単位計測では [ 0 : 00 00 ] の形式で表示されます。

ストップウォッチモード



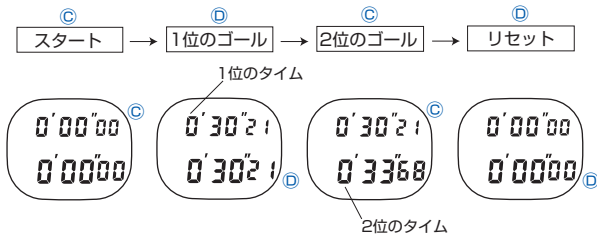
22

**2) 1位と2位のタイムの計りかた**

- ①リセット状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をスタートします。
- ②1位のランナーがゴールしたときに、ボタンDを押し、タイムを計測します。
- ③2位のランナーがゴールしたときに、ボタンCを押し、ストップウォッチの計測をストップします。
- ④停止状態でボタンDを押し、ストップウォッチをリセットします。

4

ストップウォッチモード

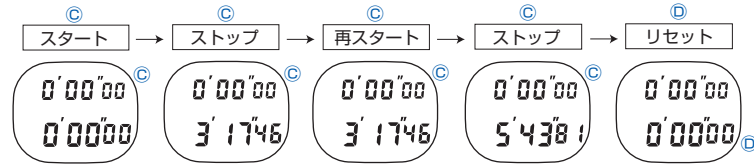


24

**(3) ストップウォッチの使いかた**

**1) 積算タイムの計りかた**

- ①リセット状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をスタートします。
- ②計測状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をストップします。
- ③停止状態でボタンDを押し、ストップウォッチをリセットします。



※計測中、ボタンCを押して、ストップ・再スタートを繰り返すことができます。

※計測時間が99時間59分59秒に達すると、ストップウォッチは自動的にストップします(オートストップ)。ボタンDを押してストップウォッチをリセットしてください。



[ オートストップ状態 ]

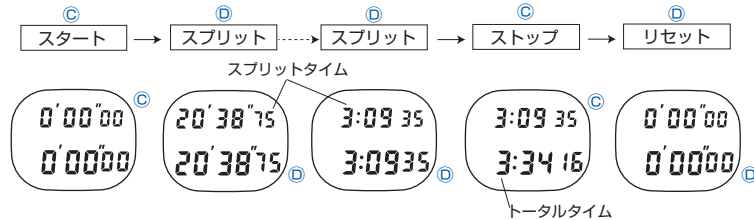
23

**3) スプリットタイム (途中経過時間) の計りかた**

- ①リセット状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をスタートします。
- ②途中の計測地点を通過するたびに、ボタンDを押し、スプリットタイムを計測します。  
※スプリットタイムは、ボタンDを押して、何回でも繰り返し計測することができます。
- ③ゴールしたときに、ボタンCを押し、ストップウォッチの計測をストップします。  
※下段にトータルタイムが表示されます。
- ④停止状態でボタンDを押し、ストップウォッチをリセットします。

4

ストップウォッチモード



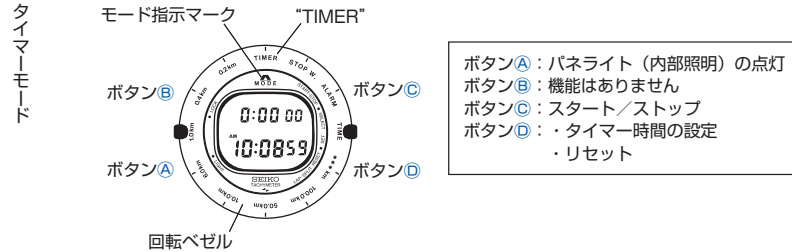
25

## タイマーモードの使いかた

- ・設定した時間を1秒単位で減算するカウントダウンタイマーです。
- ・最大99時間59分まで1分単位で設定できます。
- ・設定時間の減算終了と同時に新たな減算を開始するリピート機能があり、タイマーをストップするまで繰り返します。

### (1) ボタンの名称とはたらき

- ・回転ベゼルの回し、"TIMER"をモード指示マーク(▲)に合わせて、タイマーモードに切り替えてください。上段に「タイマー時間」を、下段に「現在時刻」を表示します。



26

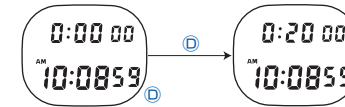
### 【ご注意】

回転ベゼルの回して他のモードに切り替えますと、タイマーがリセットされ、タイマー時間は「0: 00 00」となります。

### (2) タイマー時間の設定のしかた

例: タイマー時間を「20分」に設定する場合

- ① ボタンDを押してタイマー時間を設定します。ボタンDを1回押すごとにタイマー時間が1分ずつ進みます。  
 ※ボタンDを長押しすると早送りができます。タイマー時間が10分ずつ進みます。
- ② 一度設定したタイマー時間を修正する場合、回転ベゼルの回し、他のモードに切り替えたのちに、再びタイマーモードに戻してください。タイマー時間が「0: 00 00」にリセットされますので、ボタンDを押してタイマー時間を設定してください。



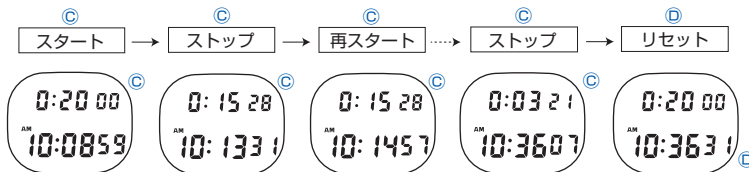
5

タイマーモード

27

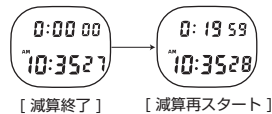
### (3) タイマーのスタート/ストップ/リセットのしかた

- ① リセット状態でボタンCを押し、タイマーの計測をスタートします。
- ② 計測状態でボタンCを押し、タイマーの計測をストップします。  
 ※計測中に、ボタンCを押し、ストップ・再スタートを繰り返すことができます。
- ③ 停止状態でボタンDを押し、タイマーをリセットします。設定したタイマー時間に戻ります。



### (4) 減算の終了/リピート機能

設定時間の減算が終了すると同時に、タイマーは新たな減算をスタートし、ストップするまで、何回でも繰り返します。



- ※設定時間の減算が終了すると5秒間アラーム音が鳴ります。
- ※鳴っているアラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押してください。

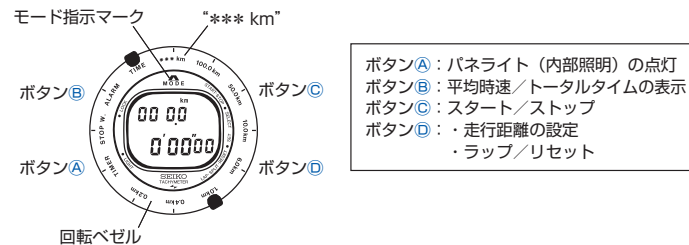
28

## タキメーターモードの使いかた

- ・設定した距離を走行するのに要した時間から平均時速を計算し、表示します。
- ・走行距離は、7種類のプリセット距離から選択することも、任意の距離を設定することもできます。
- ・ラップタイムを計測し、周回レースにおけるラップ速度と周回数を表示します。

### (1) ボタンの名称とはたらき

- ・回転ベゼルの回し、いずれかのプリセット距離または "\*\*\* km" をモード指示マーク(▲)に合わせて、タキメーターモードに切り替えてください。上段に「距離」を、下段に「ストップウォッチ」を表示します。



タキメーターモード

6

29



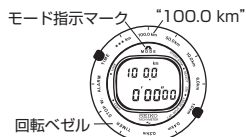
【ご注意】

タキメーター計測中に、回転ベゼルの回して他のモードまたは他のタキメーター距離に切り替えますと、タキメーターはリセットされ、元の距離に切り替えたとき、上段は「走行距離」に、下段のストップウォッチは「0' 00" 00」となります。また、「\*\*\* km」を使用していた場合は、設定した走行距離も「000.0 km」にリセットされます。

(2) 走行距離の設定のしかた

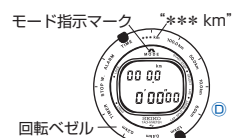
1) 7種類のプリセット距離から選択する場合

回転ベゼルの回して、ベゼル上の希望の距離をモード指示マーク(▲)に合わせます。



2) 任意の距離を設定する場合

① 回転ベゼルの回して、ベゼル上の「\*\*\* km」をモード指示マーク(▲)に合わせます。



② ボタンDを押して走行距離を設定します。ボタンDを1回押すごとに距離が0.1 kmずつ進みます。

※ボタンDを長押しすると早送りができます。距離が1 km ずつ進みます。

③ 一度設定した走行距離を修正する場合、回転ベゼルの回し、他のモードまたは距離に切り替えたのちに、再び「\*\*\* km」に戻してください。距離が「000.0」にリセットされるので、ボタンDを押して設定してください。

2) 往路・復路それぞれ、および往復の走行時間と平均速度を計測する

例：距離が「100 km」の目的地を往復する場合

- ① 往路到着の前までは、P.31「走行時間と平均速度を計測する」と同じ操作を行います。
- ② 往路到着時にボタンDを押します。往路の平均速度と走行時間が表示されます。
- ③ ボタンCを押して、計測をストップします。
- ④ 復路スタート時に、ボタンCとボタンDを一回ずつ押します。順序はどちらでも構いません。
- ⑤ 計測中に、休憩など走行を中断するときは、ボタンCを押し、計測をストップします。  
※計測中に、ボタンCを押して、計測のストップ・再スタートを繰り返すことができます。
- ⑥ 復路到着時に、ボタンCを押し、計測をストップします。復路の平均速度と走行時間が表示されます。
- ⑦ ボタンBを押すと、往復の走行時間と平均速度が表示されます。
- ⑧ ボタンDを押して、タキメーターをリセットします。

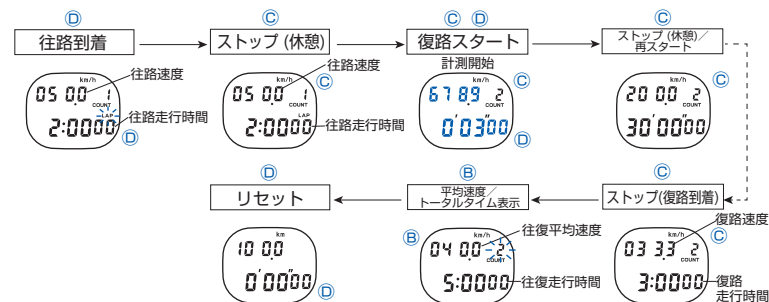
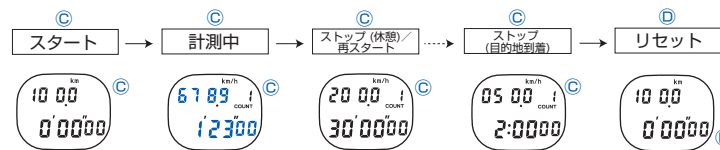
(3) タキメーターの使いかた

※下記の図面中、青い数字は計測が進行していることを示します。

1) 走行時間と平均速度を計測する

例：目的地までの距離が「100 km」の場合

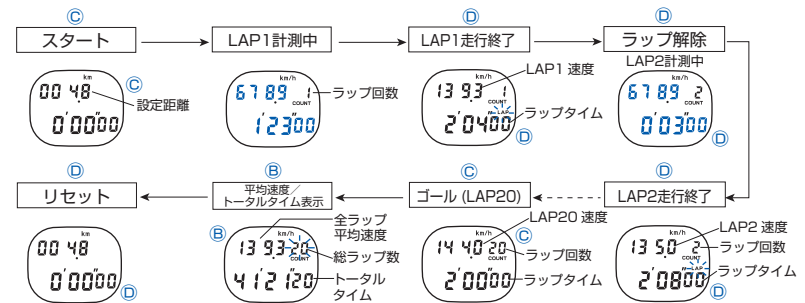
- ① P.30「走行距離の設定のしかた」に従い、走行距離を「100 km」に設定します。
- ② ボタンCを押し、計測をスタートします。
- ③ 計測中に、休憩など走行を中断するときは、ボタンCを押し、計測をストップします。  
※計測中に、ボタンCを押して、計測のストップ・再スタートを繰り返すことができます。
- ④ 目的地到着時に、ボタンCを押し、計測をストップします。  
※上段に平均速度、下段にトータルタイムが表示されます。
- ⑤ ボタンDを押し、タキメーターをリセットします。



### 3) 周回レースの各ラップおよびレース全体の走行時間と平均速度を計測する

例：1周「4.8 km」周回コースを20周する場合

- ① P.30「走行距離の設定のしかた」に従い、走行距離を「4.8 km」に設定します。
- ② ボタンCを押し、計測をスタートします。
- ③ LAP1の走行が終了したときに、ボタンDを押します。LAP1の平均速度と走行時間が表示されます。
- ④ ボタンDを押し、ラップを解除し、LAP2計測状態にします。LAP19まで③と④の操作を繰り返します。
- ⑤ LAP20の走行終了時に、ボタンCを押し、計測をストップします。LAP20の平均速度と走行時間が表示されます。
- ⑥ ボタンBを押すと、総ラップ数が点滅し、レース全体のトータルタイムと平均速度が表示されます。
- ⑦ ボタンDを押し、タキメーターをリセットします。



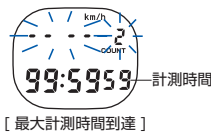
### (4) エラー表示について

以下の場合、エラー表示が現れます。

- ・速度が1000.0 km/h以上となった場合、上段の速度表示（「- - -」）が点滅します。



- ・全ラップのトータルタイムが99時間59分59秒に達し、計測が自動的に停止した場合、上段の速度表示（「- - -」）とラップ総数表示（例：「2」）が点滅します。



- ・計測したラップの総数が99を超過した状態で、ボタンBを押して平均速度を表示させた場合、上段の速度表示（「- - -」）とラップ総数表示（「99」）が点滅します。




### お手入れについて

#### ●日ごろからこまめにお手入れしてください

- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。  
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。  
→ 性能と型式について P.40 防水性能について P.38

## 防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を  
下記の表でご確認の上で使用ください。  
(「P.40」をご覧ください)

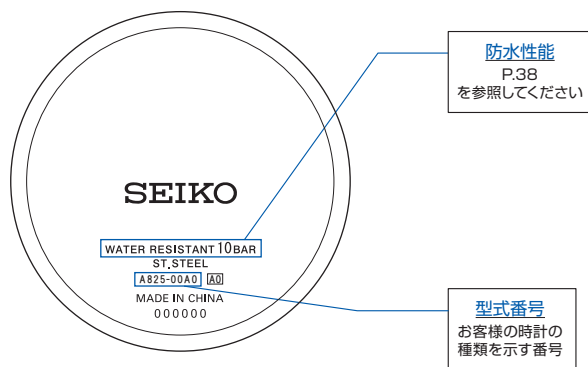
裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。  <b>警告</b> 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10 (20) 気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキンドIVINGに使用できます。

38

39

## 性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます



※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

40

## バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

### ●金属バンド

- ・ ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・ 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・ 残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・ チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・ さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・ 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

41

●**皮革バンド**

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などのご使用はお控えください。

●**ポリウレタンバンド**

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・濃い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

●**シリコンバンド**

- ・材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- ・他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



2. 電池寿命切れ予告機能

この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。

※「時刻・カレンダー表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2〜3日中に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

電池についてのご留意とご注意

1. 電池について

(1) 電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合は、その後約3年間作動します。  
※ただし、電池寿命(3年)は、アラーム 20 秒/日、パネライト(内部照明) 3 秒/日、ストップウォッチ 1 時間/日を基準としていますので、それ以上使用した場合は、上記の期間に満たないうちに容量が切れることがあります。

(2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

(3) 電池交換

- ・電池交換は、必ずお買い上げ店、または取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。
- ・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- ・電池交換は、保証期間内でも有料となります。
- ・電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に 10 気圧防水以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

アフターサービスについて

●**保証と修理について**

- ・修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

●**補修用性能部品について**

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。  
ご使用状況によっては、漏液により表示消えが生じることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。  
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

●パネライト（EL：エレクトロルミネッセンス）について

パネライト（内部照明）として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。

※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間経過すると半減します。ご使用中にパネライト（内部照明）が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。電池交換しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

●液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、7年を過ぎるとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

こんなときは

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった 何も表示されない	電池の容量がなくなった	直ちに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。
時計が一時的に進む、 または遅れる	時計を暑いところ、または寒いところ に放置した	常温に戻れば元の精度に戻ります。 元に戻らない場合は、お買い上げ店 にご相談ください。
各モードを操作中に、 回転ベゼルを回してモードを変更したら リセットされた	各モード操作中に回転ベゼルを回して モードを変更すると、データが途中で リセットされます。 ・ストップウォッチ計測中に、 TIMEモード、ALARMモード以外の モードに移行した ・タキメーター計測中に他のモード に移行した ・タイマー操作中に他のモード に移行した	モードの変更は計測終了後に行 ってください。

現象	考えられる原因	このようにしてください
入力したタキメーターの 距離設定値がリセットさ れてしまった	回転ベゼルの回してモードを 変更した	他のモードへ切り替えた場合 は、タキメーター距離設定値を 再度入力してください。
タキメーターの速度 が正しく表示されな い	速度が計測可能範囲外になっ ている	本機の計測可能速度範囲は、0～ 999.9 km/hです。 範囲外の場合、速度表示は 「----- km/h」になります。
	距離設定がゼロになっている	回転ベゼル上の"*** km"を 選択した場合、距離の初期値は [000.0 km]ですので、距離設 定を行ってください(P.30参照)。
入力したタイマー設 定値がリセットされて しまった	回転ベゼルの回してモードを 変更した	他のモードへ切り替えた場合 は、タイマー設定値を再度入力 してください。

現象	考えられる原因	このようにしてください
タイマー計測が止まらない	本機のタイマーには、リピート機能が有り、手動で止めない限り減算を繰り返す	停止操作を行い、タイマーを停止するか、回転ベゼルを回して他のモードへ移行してください。タイマー計測は自動的にリセットされます。
全ての表示セグメントが点滅表示になった	電池の容量切れが間近であることを知らせている	お早めに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った	お買い上げ店にご相談ください。

### 製品仕様

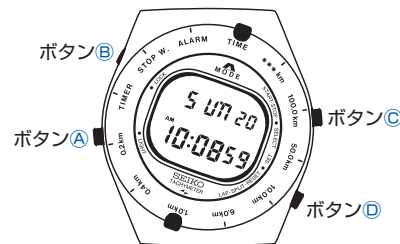
1. 水晶振動数	32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
2. 精度	平均月差±20秒 (気温5℃~35℃において腕に着けた場合)
3. 作動温度範囲	-10℃~+60℃ (ただし表示機能は0℃~+50℃)
4. 表示内容	
時刻・カレンダーモード	日、曜日、AM/PMマーク (12時間制のとき表示)、時、分、秒、(アラームマーク、時報マーク)
アラームモード	アラームセット時刻 (時・分)、A/P (12時間制のとき表示)、現在時刻、AM/PMマーク (12時間制のとき表示)、(アラームマーク、時報マーク)
ストップウォッチモード	1/100秒単位 (60分経過後は1秒単位) で最大99時間59分59秒まで計測、スプリットタイム、積算時間、(アラームマーク、時報マーク)
タイマーモード	計測単位: 1秒、1分単位で最大99時間59分まで設定可能、現在時刻、AM/PMマーク (12時間制のとき表示)、(アラームマーク、時報マーク)
タキメーターモード	設定距離: 7種類のプリセット距離 (0.2、0.4、1.0、6.0、10.0、50.0、100.0 km) から選択または0.1 km単位で最大999.9 kmまで任意の距離を設定 (*** km)、計測時間 (最大99時間59分59秒)、速度 (0~999.9 km/h)、ラップタイム、ラップ回数、距離/時速マーク、ラップマーク、ラップ回数マーク、エラー表示、(アラームマーク、時報マーク)
5. 表示体	FE (電界効果) 型ネマチック液晶
6. 使用電池	SB-T11: 1個
7. 電池寿命	約3年 (アラーム20秒/日、パネライト3秒/日、ストップウォッチ1時間/日で使用の場合)
8. 内部照明	EL (エレクトロルミネッセンス)
9. 電子回路	発振、分周、駆動、EL回路: C-MOS-IC 1個

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

### システムリセットのしかた

万が一、異常な動きになったときは、システムリセットをすることで正常に機能する様になります。

①ボタンA、B、C、Dを同時に2秒以上長押しし、表示が消えたら離します。



②リセットされます。

表示がない状態から復帰すると、時刻・カレンダーモードの時刻表示になります。時刻、カレンダーは2018年1月1日、午前12時00分からカウントを始めます。正しい時刻で使っていたためにシステムリセット後は時刻合わせを行ってください。

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.  
For proper and safe use of your SEIKO watch,  
please read carefully the instructions in this  
booklet before using it.

Keep this manual handy for easy reference.

※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased. If you cannot have your watch repaired by the retailer from whom the watch was purchased because you received the watch as a gift or you moved to a distant place, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

※ If your watch has a protective film for preventing scratches, make sure to peel it off before using the watch. If the watch is used with the film on it, dirt, sweat, dust, or moisture may be attached to the film and may cause rust.

## Contents

<b>1. ABOUT THIS PRODUCT</b>	
Handling Precautions .....	56
Features .....	60
Mode Change with Rotary Switch .....	61
Names of Buttons .....	62
Mode Change and Functions of Each Mode .....	63
Marking Descriptions .....	65
<b>2. TIME/CALENDAR MODE</b>	
How to Use Time/Calendar Mode .....	66
(1) Buttons and functions .....	66
(2) How to set the time and calendar .....	67
(3) Alarm test and turning on/off of hourly time signal/button operation confirmation sound .....	69
<b>3. ALARM MODE</b>	
How to Use Alarm Mode .....	70
(1) Buttons and functions .....	70
(2) How to set the alarm .....	71
(3) Engagement/disengagement of the alarm .....	72
(4) How to stop the alarm sound .....	72
<b>4. STOPWATCH MODE</b>	
How to Use Stopwatch Mode .....	73
(1) Buttons and functions .....	73
(2) Remarks on measurement increments .....	74
(3) How to use the stopwatch .....	75
1) Accumulated elapsed time measurement .....	75
2) Measurement of times of the first and second runners .....	76
3) Split time measurement .....	77
<b>5. TIMER MODE</b>	
How to Use Timer Mode .....	78
(1) Buttons and functions .....	78
(2) How to set the timer .....	79
(3) How to start/stop/reset the timer .....	80
(4) End of countdown/repeat function .....	80
<b>6. TACHYMETER MODE</b>	
How to Use Tachymeter Mode .....	81

(1) Buttons and functions .....	81
(2) How to set distance to travel .....	82
1) To select from among 7 preset distances .....	82
2) To set a desired distance .....	82
(3) How to use the tachymeter .....	83
1) To measure time traveled and average hourly speed of an automobile .....	83
2) To measure time traveled and average hourly speed in round trip; those to and from destination, respectively, and in the whole trip .....	84
3) To measure, in circuit race, time required and average hourly speed of each lap and entire race .....	86
(4) Remarks on error indication .....	88
<b>7. TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH</b>	
Daily Care .....	89
Water Resistance .....	90
Performance and Type .....	92
Band .....	93
Remarks on Battery .....	95
After-Sale Service .....	97

<b>10. TROUBLESHOOTING</b>	1
Troubleshooting .....	100
How to Reset Built-In IC .....	103
<b>11. SPECIFICATIONS</b>	
Specifications .....	104

1
2
3
4
5
6
7
8
9

## 1 Handling Precautions

ABOUT THIS PRODUCT

**WARNING**

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Immediately stop wearing the watch in the following cases.
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion, etc.
  - If the pins protrude from the band

※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.
 

Care should be taken to prevent a baby or a child from accidentally swallowing accessories. If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor as it will be harmful to the health of the baby or child.
- Do not remove the battery from the watch.
 

Replacement of the battery requires professional knowledge and skill. For battery replacement, please ask the retailer from whom the watch was purchased .  
Do not charge the battery.  
It may explode, generate heat or catch fire.

**CAUTION**

To indicate the risks of light injuries or material damage unless the following safety regulations are strictly observed.

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.
  - Places where volatile agents (such as polish remover, bug repellent, thinners, etc.) are vaporizing
  - Places where the temperature drops below 5 °C or rises above 35 °C for a long time
  - Places of high humidity
  - Places affected by strong magnetism or static electricity
  - Dusty places
  - Places affected by strong vibrations

※ Do not leave the old battery inside the watch for a long time. Battery leakage may occur.
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation, stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.
- Other cautions
  - Replacement of the metal band requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the metal band, as there is a risk of hand or finger injury and a fear of lost parts.
  - Do not disassemble or tamper with the watch.
  - Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
  - When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
  - If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

ABOUT THIS PRODUCT

### ⚠ WARNING



**Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.**

The various tightened inspections under a simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on this watch. For diving, use special watches for diving.

### ⚠ CAUTION



**Do not pour running water directly from a faucet onto the watch.**

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

### ⚠ CAUTION



**Do not push the buttons when the watch is wet.**  
Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.



**Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.**

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



**Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.**  
Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

## Features

### ■ MODE CHANGE WITH ROTARY SWITCH

Mode change can be made easily by turning the rotating bezel.

### ■ TIME/CALENDAR FUNCTION

The calendar adjusts automatically for odd and even months including February of leap years from 2018 to 2067. Changeover between 12- and 24-hour formats is possible.

### ■ TACHYMETER FUNCTION

The average hourly speed of an automobile can be calculated and displayed from the time required to travel a given distance. For a circuit race, lap time measurement is possible, and the average hourly speed of each lap and the lap number are displayed. The distance to travel can be either selected from the seven preset distances or set as desired.

### ■ STOPWATCH FUNCTION

The stopwatch can measure up to 99 hours, 59 minutes and 59 seconds in 1/100-second increments (in 1-second increments after 60 minutes). Split time measurement is possible.

### ■ TIMER FUNCTION

Up to 99 hours and 59 minutes can be set in 1-minute increments for the timer. The timer repeats counting down the set time unless it is stopped manually.

### ■ ALARM FUNCTION

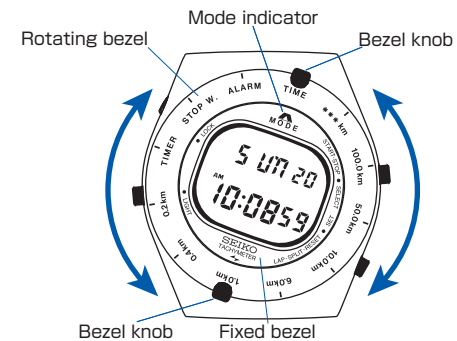
The alarm rings daily at a designated time.

### ■ PANELIGHT (ILLUMINATING LIGHT)

By pressing the dedicated light button, the light illuminates the display for three seconds.

## Mode Change with Rotary Switch

- To change the mode, hold the two bezel knobs with the thumb and another finger, and turn the rotating bezel to align the desired mode name on the rotating bezel with the mode indicator (▲) on the fixed bezel.
- The rotating bezel can be turned either clockwise or counterclockwise.



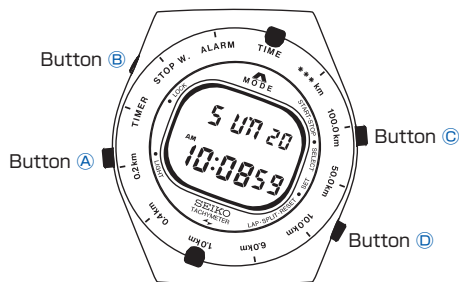
### [CAUTION]

If sand or dirt enters the clearance between the rotating bezel and the watch case, the rotating bezel may not turn smoothly. If the watch is soiled with such foreign matter, rinse it off completely in a container of tap water.



## Names of Buttons

- The buttons are named A to D in clockwise order from the one in the bottom left.
- Markings inscribed on the fixed bezel near each button indicate its main functions.

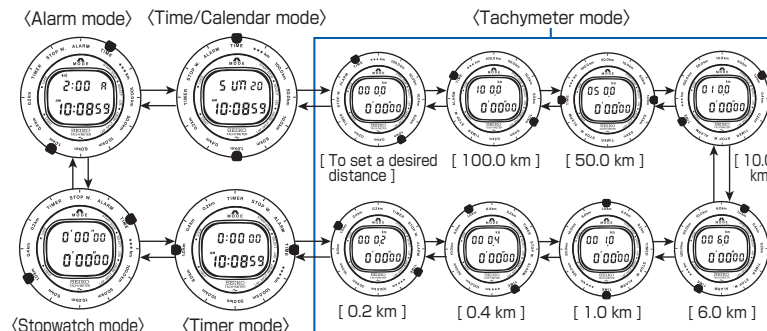


※ The markings on the bezels and the design of the watch may differ from model to model.

	Indication on rotating bezel	Functions	Refer to:
Time/Calendar mode	TIME	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Setting and display of time, date and day of week</li> <li>• Fully automatic calendar from 2018 to 2067</li> <li>• Turning on/off of hourly time signal/button operation confirmation sound; and alarm test</li> </ul>	P. 66
Alarm mode	ALARM	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rings daily at a designated time.</li> <li>• Can be engaged/disengaged as desired.</li> </ul>	P. 70
Stopwatch mode	STOP W.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Measures up to 99 hours, 59 minutes and 59 seconds in 1/100-second increments (1-second increments after 60 minutes).</li> <li>• Split time measurement is possible.</li> </ul>	P. 73
Timer mode	TIMER	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Can be set to count down up to 99 hours and 59 minutes in 1-minute increments.</li> <li>• Repeats counting down the set time unless stopped manually.</li> </ul>	P. 78
Tachymeter mode	Seven preset distances and "*** km" (to set a desired distance)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Calculates average speed from the time required to travel a given distance.</li> <li>• The distance to travel can be either selected from preset distances or set as desired.</li> <li>• Lap time, lap speed and lap number can be displayed up to 99 laps.</li> <li>• Average speed over all laps is displayed.</li> </ul>	P. 81

## Mode Change and Functions of Each Mode

- To change the mode, turn the rotating bezel to align the desired mode name on the rotating bezel with the mode indicator (▲) on the fixed bezel. The rotating bezel can be turned either clockwise or counterclockwise.



- Pressing Button A turns on the Panelight (illuminating light) for three seconds in any mode.

## Marking Descriptions

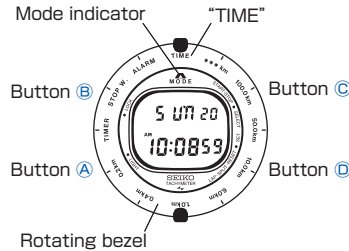
- AMPM** [AM/PM mark] : Shown when the current time is shown in a 12-hour format.
- km** [Distance mark] : Indicates distance to travel in Tachymeter mode.
- km/h** [Speed mark] : Indicates average hourly speed in Tachymeter mode.
- COUNT** [Lap number mark] : Indicates lap number when the lap time measurement function is used in Tachymeter mode.
- LAP** [Lap mark] : Flashes after a lap time has been measured, indicating that the next lap time is being measured. Remains lighted while the measurement is stopped.
- ||)** [Alarm mark] : Shown when the alarm is engaged.
- 🔔** [Hourly time signal mark] : Shown when the hourly time signal/button operation confirmation sound is turned on. When it is turned on, the hourly time signal rings every hour on the hour.

## How to Use Time/Calendar Mode

### (1) Buttons and functions

- Turn the rotating bezel to align "TIME" with the mode indicator (▲). The Time/Calendar mode will be shown. The day of the week and date, and the current time are shown in the upper and lower rows, respectively.

TIME/CALENDAR MODE

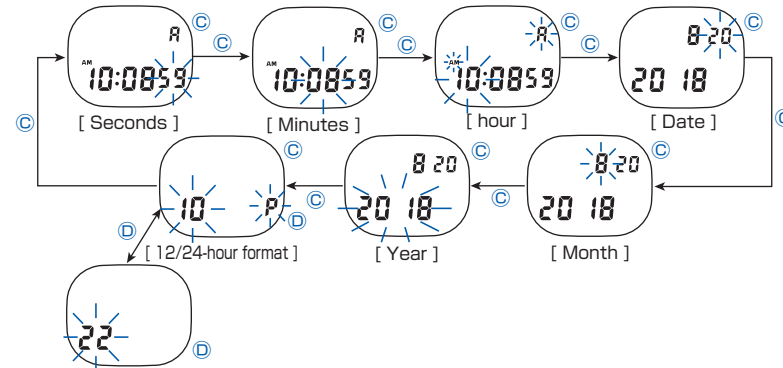


- Button A : To turn on Panelight (illuminating light)
- Button B : To activate/deactivate Time/Calendar Setting function
- Button C : To select digits to be adjusted
- Button D : To set digits to be adjusted
  - To turn on/off hourly time signal/button operation confirmation sound
- Button C/D (Press and hold simultaneously) : To perform alarm test

66

### (2) How to set the time and calendar

- Press Button B to activate the Time/Calendar Setting function. The seconds digits start flashing.
- With each press of Button C, the digits to be adjusted (flashing) can be selected in the following order:



※Once the year, month and date are set, the day of the week is set automatically.

TIME/CALENDAR MODE

67

- Press Button C to select the flashing seconds digits, and then, press Button D in accordance with a time signal. The seconds are reset to "00."

- If Button D is pressed while the seconds digits count any number between 30 and 59, one minute is added and the seconds digits are reset to "00."
- The telephone time signal service (TEL 117) is useful for setting the seconds accurately.

- Press Button C to select the digits to be adjusted (flashing), and then, press Button D to set them. With each press of Button D, the digits other than seconds increase by one.

- The digits move quickly by pressing and holding Button D.
- To set a 12/24-hour format, the format changes over with each press of Button D.

- After the time/calendar setting procedure is completed, press Button B to return to the Time/Calendar display. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to the Time/Calendar in 3 to 4 minutes.

※The watch is equipped with a fully automatic calendar. The year, month, date and day of the week are pre-programmed from 2018 to 2067. During those years, the calendar adjusts automatically for odd and even months including February of leap years.

※While the time/calendar setting is being made, all the digits of the display may light up. This is not a malfunction. In that case, press any of the buttons to return to the Time/Calendar display, and then, resume the setting procedure from Step ① of (2) above.

TIME/CALENDAR MODE

68

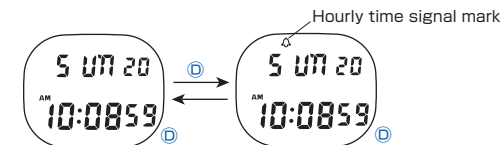
### (3) Alarm test and turning on/off of hourly time signal/button operation confirmation sound

- The alarm sound can be tested by pressing and holding both Buttons C and D at the same time in the Time/Calendar mode. The alarm mark (■) flashes while the buttons are kept pressed.



- With each press of Button D in the Time/Calendar mode, the hourly time signal/button operation confirmation sound is turned on and off alternately. When it is turned on, the hourly time signal mark (▲) lights up.

※While the hourly time signal/button operation confirmation sound is turned on, the hourly time signal mark (▲) is displayed in any mode.



[ Hourly time signal/button operation confirmation sound is turned OFF ]

[ Hourly time signal/button operation confirmation sound is turned ON ]

TIME/CALENDAR MODE

69

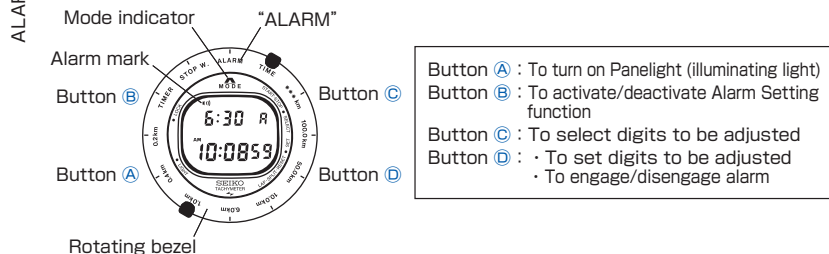
## How to Use Alarm Mode

- The alarm rings daily at a designated time.
- Engagement/disengagement of the alarm can be made.

### (1) Buttons and functions

- Turn the rotating bezel to align "ALARM" with the mode indicator (▲). The Alarm mode will be shown. The designated alarm time and the current time are shown in the upper and lower rows, respectively.

※When the alarm is engaged, the alarm mark (■) is displayed.

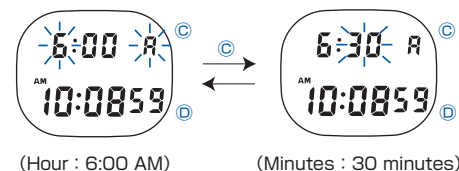


70

### (2) How to set the alarm

Ex.) To set the alarm time to "6:30 AM":

- ① Press Button B to activate the Alarm Setting function. The hour digits start flashing.  
※ If the Time/Calendar display is set in a 12-hour format, flashing "A" (AM) or "P" (PM) is also displayed together with the hour digits.
- ② With each press of Button C, the hour and minute digits flash alternately. Press Button C to select the digits to be adjusted (flashing).
- ③ With each press of Button D, the flashing digits increase by one.  
※ The digits move quickly by pressing and holding Button D.
- ④ After all the adjustments are completed, press Button B to deactivate the Alarm Setting function. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to the Alarm in 3 to 4 minutes.  
※ By deactivating the Alarm Setting function, the alarm is engaged automatically, and the alarm mark (■) is displayed.



(Hour : 6:00 AM)

(Minutes : 30 minutes)

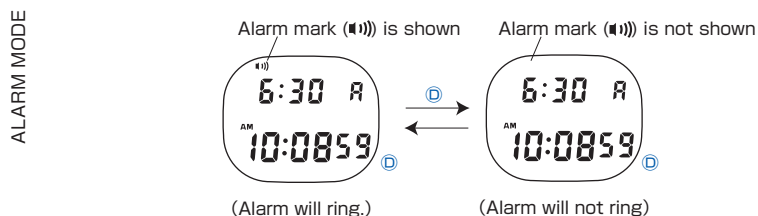
71

### (3) Engagement/disengagement of the alarm

- With each press of Button D in the Alarm display, the alarm is engaged and disengaged alternately.

※When the alarm is engaged, the alarm mark (■) is shown .

※The alarm mark (■) is shown in any mode if the alarm is engaged.



### (4) How to stop the alarm sound

- The alarm rings at the designated time for 20 seconds.  
To stop it manually, press any of the buttons, or turn the rotating bezel to change the mode to another.

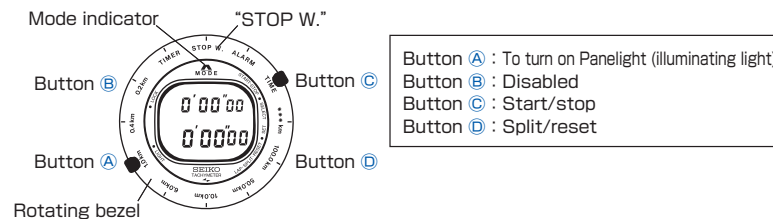
72

## How to Use Stopwatch Mode

- The stopwatch measures up to 99 hours, 59 minutes and 59 seconds in 1/100-second increments for the first 60 minutes, and in 1-second increments thereafter.
- Split time measurement is possible.

### (1) Buttons and functions

- Turn the rotating bezel to align "STOP W." with the mode indicator (▲). The Stopwatch mode will be shown. The split time and accumulated elapsed time are shown in the upper and lower rows, respectively.



STOPWATCH MODE

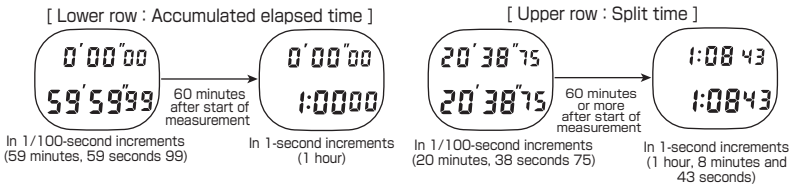
73

**[CAUTION]**

If the rotating bezel is turned while the stopwatch measurement is in progress to change the mode to any other mode than the Time/Calendar or Alarm, the split time and the accumulated elapsed time you have measured are reset. When the mode is returned to the Stopwatch, [0' 00" 00] will be displayed in both the upper and lower rows. If the mode is changed to the Time/Calendar or Alarm, the split time and the accumulated elapsed time measured are retained, and the measurement is resumed when the mode is returned to the Stopwatch.

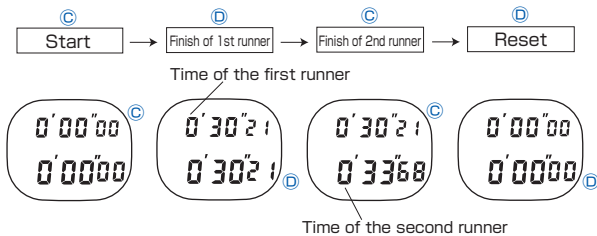
**(2) Remarks on measurement increments**

The split time and the accumulated elapsed time shown in the upper and lower rows, respectively, are measured in 1/100-second increments for the first 60 minutes, and in 1-second increments thereafter. Please note that the time is displayed in the format of [0' 00" 00] during the 1/100-second increment measurement and [0:00 00] during the 1-second increment measurement.



**2) Measurement of times of the first and second runners**

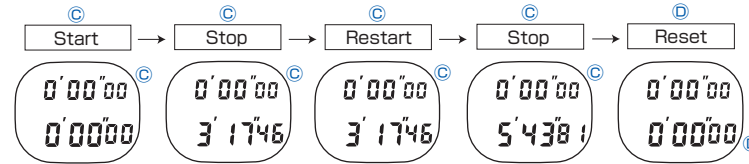
- ① Checking that the stopwatch has been reset, press Button **C** to start measurement.
- ② Press Button **D** when the first runner reaches the goal to measure his/her time.
- ③ Press Button **C** when the second runner reaches the goal to stop the stopwatch.
- ④ Press Button **D** to reset the stopwatch.



**(3) How to use the stopwatch**

**1) Accumulated elapsed time measurement**

- ① Checking that the stopwatch has been reset, press Button **C** to start measurement.
- ② Press Button **C** to stop measurement.
- ③ Press Button **D** to reset the stopwatch.



※ The measurement can be stopped and restarted as many times as necessary by pressing Button **C**.

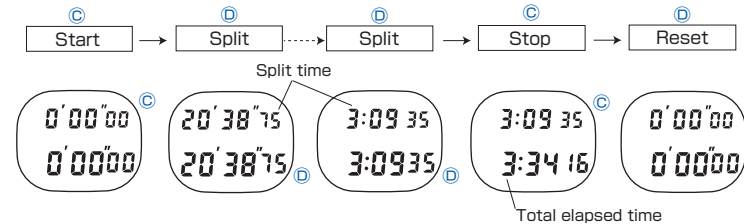
※ When the measured time reaches 99 hours, 59 minutes and 59 seconds, the stopwatch stops measurement automatically ("auto-stop"). In that case, press Button **D** to reset the stopwatch.



[ "Auto-stop" has worked ]

**3) Split time measurement**

- ① Checking that the stopwatch has been reset, press Button **C** to start measurement.
- ② Each time the runner passes a measurement point, press Button **D** to measure a split time.
  - ※ The split time can be measured as many times as necessary by pressing Button **D**.
- ③ When the runner reaches the goal, press Button **C** to stop measurement.
  - ※ The total elapsed time is displayed in the lower row.
- ④ Press Button **D** to reset the stopwatch.



## How to Use Timer Mode

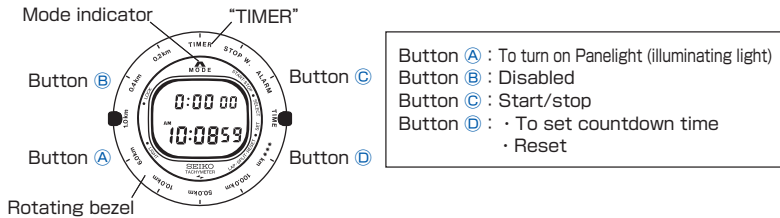
- The timer counts down the set time in 1-second increments.
- Up to 99 hours and 59 minutes can be set for countdown in 1-minute increments.
- At the same time as the timer finishes counting down the set time, it starts counting again. It repeats counting down the set time unless it is stopped manually.

### (1) Buttons and functions

- Turn the rotating bezel to align "TIMER" with the mode indicator (▲). The Timer mode will be shown. The countdown time and the current time are shown in the upper and lower rows, respectively.

5

TIMER MODE



78

### [CAUTION]

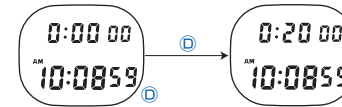
If the rotating bezel is turned to change the mode to another, the timer is reset, and the timer countdown time you have set is reset to "0: 00 00."

### (2) How to set the timer

Ex.) To set countdown time to "20 minutes":

- ① Press Button D to set the countdown time. With each press of Button D, the digits increase by one minute.
  - ※The digits move quickly by pressing and holding Button D. The countdown time increases in 10-minute increments.

- ② To correct the countdown time you have set, turn the rotating bezel to change the mode to another, and then turn it again to return the mode to the Timer. The countdown time is reset to "0: 00 00." Press Button D to set the desired countdown time again.



5

TIMER MODE

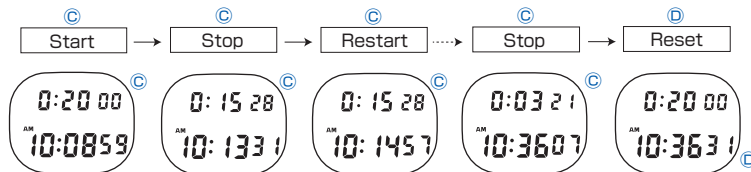
79

### (3) How to start/stop/reset the timer

- ① Checking that the timer has been reset, press Button C to start timer countdown.
- ② Press Button C to stop timer countdown.
  - ※The countdown can be stopped and restarted as many times as necessary by pressing Button C.
- ③ Press Button D to reset the timer. The countdown time you have set will be shown.

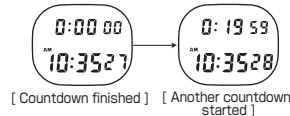
5

TIMER MODE



### (4) End of countdown/repeat function

At the same time as the timer has finished counting down the set time, it starts another countdown. It repeats counting down the set time unless it is stopped manually.



- ※When the set time is up, the time-up beep rings for five seconds and stops.
- ※To stop it manually, press any of the buttons.

80

## How to Use Tachymeter Mode

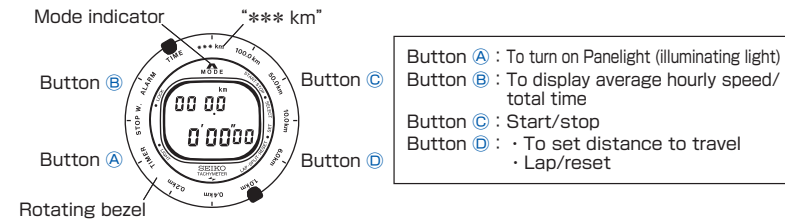
- The average hourly speed of an automobile can be calculated and displayed from the time required to travel a given distance.
- The distance to travel can be either selected from the seven preset distances or set as desired.
- For a circuit race, the average hourly speed of each lap and the lap number are displayed.

### (1) Buttons and functions

- Turn the rotating bezel to align a desired preset distance or "\*\*\* km" with the mode indicator (▲). The Tachymeter mode will be shown. The distance and the stopwatch are shown in the upper and lower rows, respectively.

Tachymeter Mode

6



81

**[CAUTION]**

If the rotating bezel is turned while the tachymeter measurement is in progress to change the mode or tachymeter distance to another, the measurement is reset. When the preset distance set previously is selected again, the distance to travel and [0' 00' 00] will be displayed in the upper and lower rows, respectively. If "\*\*\* km" has been used before turning the rotating bezel, the distance you have set will be reset to "000.0 km."

**(2) How to set distance to travel****1) To select from among 7 preset distances**

Turn the rotating bezel to align a desired preset distance with the mode indicator (▲).

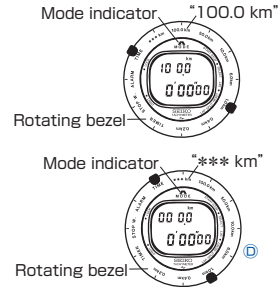
**2) To set a desired distance**

① Turn the rotating bezel to align "\*\*\* km" with the mode indicator (▲).

② Press Button **D** to set a desired distance. With each press of the button, the distance increases by 0.1 km.

※ The digits move quickly by pressing and holding Button **D**. The distance increases in 1-km increments.

③ To correct the distance you have set, turn the rotating bezel to change "\*\*\* km" to another mode or distance, and then, return it to "\*\*\* km" again. The distance you have set will be reset to "000.0." Press Button **D** to set it again.

**2) To measure time traveled and average hourly speed in round trip; those to and from destination, respectively, and in the whole trip**

Ex.) When the distance to the destination is "100 km":

① Before reaching the destination during the forward trip, use the tachymeter in the same manner as in "To measure time traveled and average hourly speed of an automobile" on P. 83.

② When you reach the destination, press Button **D**. The average hourly speed and the time traveled in the forward trip are displayed.

③ Press Button **C** to stop measurement.

④ When starting the backward trip, press Button **C** and **D** once separately, regardless of the order.

⑤ When the travel is interrupted for rest or any other reason, press Button **C** to stop measurement.

※ The measurement can be stopped and restarted as many times as necessary by pressing Button **C**.

⑥ When you reach back the starting place, press Button **C**. The average hourly speed and the time traveled in the backward trip are displayed.

⑦ Press Button **B**. The average hourly speed and the time traveled in the whole trip are displayed.

⑧ Press Button **D** to reset the tachymeter.

**(3) How to use the tachymeter**

※ The blue digits in the illustrations below indicate that a measurement is in progress.

1) To measure time traveled and average hourly speed of an automobile Ex.) When the distance to the destination is "100 km":

① Refer to "How to set distance to travel" on P. 82, and set the distance to travel to "100 km."

② Press Button **C** to start measurement.

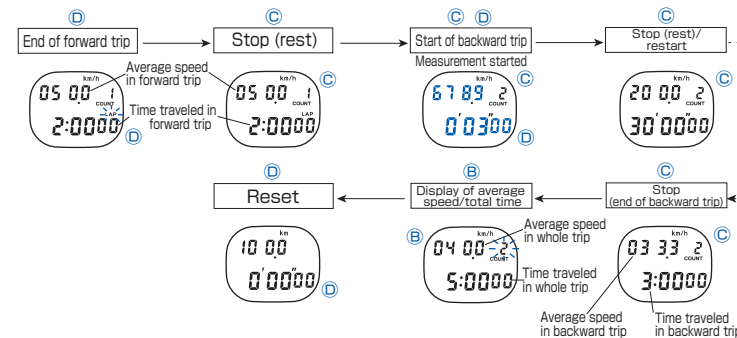
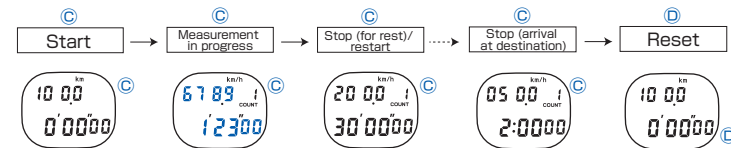
③ When the travel is interrupted for rest or any other reason, press Button **C** to stop measurement.

※ The measurement can be stopped and restarted as many times as necessary by pressing Button **C**.

④ When you reach the destination, press Button **C** to stop measurement.

※ The average hourly speed and the total time are displayed in the upper and lower rows, respectively.

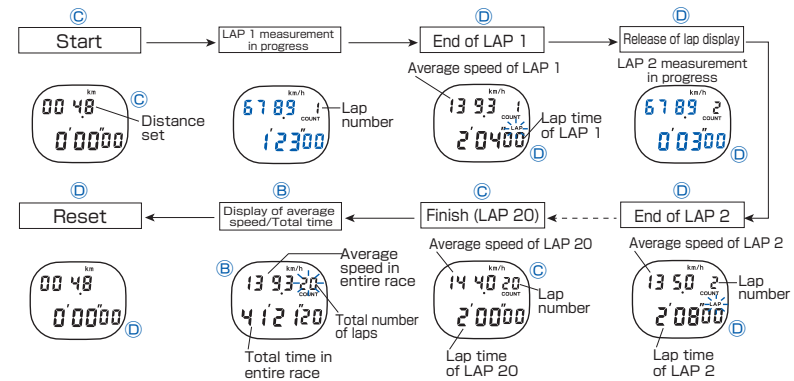
⑤ Press Button **D** to reset the tachymeter.



### 3) To measure, in circuit race, time required and average hourly speed of each lap and entire race

Ex.) When the race consists of 20 laps around a 4.8 km circuit course:

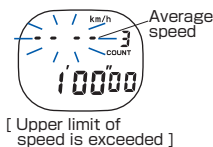
- ① Refer to "How to set distance to travel" on P. 82, and set the distance to travel to "4.8 km."
- ② Press Button **C** to start measurement.
- ③ When LAP 1 is completed, press Button **D**. The average hourly speed and the time required in LAP 1 are displayed.
- ④ Press Button **D** to release the lap display for LAP 1 and show the measurement in progress for LAP 2. Repeat the steps ③ and ④ until LAP 19.
- ⑤ When LAP 20 is completed, press Button **C** to stop measurement. The average hourly speed and the time required in LAP 20 are displayed.
- ⑥ By pressing Button **B**, the total number of laps starts flashing, and the average hourly speed and the time required in the entire race are displayed.
- ⑦ Press Button **D** to reset the tachymeter.



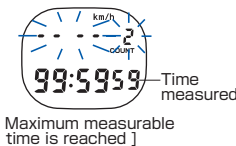
### (4) Remarks on error indication

The error indication appears in the following cases:

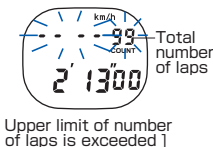
- When the average speed exceeds 1000.0 km/h, the average speed display ("-- --") in the upper row starts flashing.



- When the total time of the entire laps exceeds 99 hours, 59 minutes and 59 seconds, the average speed display ("-- --") and the lap number ("2" in the example at right) in the upper row start flashing.



- If Button **B** is pressed when the total number of laps has exceeded 99, the average speed display ("-- --") and the number of laps ("99") in the upper row start flashing.



## Daily Care

### ● The watch requires good daily care

- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
- ※ If your watch is rated as "Non-water resistant" or "water resistant for everyday life," do not wash the watch. Do not pour running water directly from the faucet onto the watch. Put some water into a bowl first, and then soak the watch in the water to wash it.  
Performance and Type → P. 92.  
Water Resistance → P. 90.

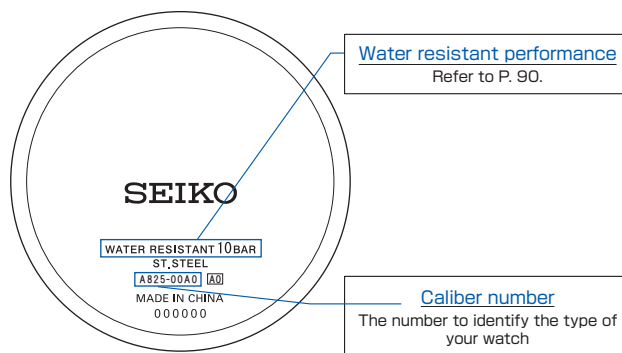
## Water Resistance

Refer to the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.  
(Refer to P. 92.)

Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life. <b>⚠ WARNING</b> Not suitable for swimming
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures	The watch is suitable for sports such as swimming.
WATER RESISTANT 10(20) BAR	Water resistance for everyday life at 10 (20) barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

## Performance and Type

The case back shows the caliber and performance of your watch.



※The figure above is one example. Performance of your watch may differ from that of the above.

## Band

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

### ● Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush. (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

### ● Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.




- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10- or 20-BAR water resistant).

#### ● Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.  
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

#### ● Silicone band

- As for material characteristics, the band is easily dirtied, and may be stained and discolored. Wipe off dirt with a wet cloth or cleaning tissue.
- Unlike bands of other materials, cracks may result in the band being cut. Take care not to damage the band with an edged tool.

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist. 

- Once the case back is opened for battery replacement or other purposes, the original water resistant quality designed for the watch may deteriorate when it is closed. When you have the battery replaced with a new one, also request the water resistance test pertaining to the water resistant quality of your watch. If your watch has 10-bar or higher water resistant quality, be sure to have such test performed on the watch every time the battery is replaced. Please note that it takes several days to check the water resistant quality of your watch. When requesting the checking, therefore, please confirm the period required for it.

#### 2. Battery life indicator

The watch is equipped with a battery life indicator that enables you to know when the battery needs to be replaced.

- ※When all the segments of the display start flashing in the TIME/CALENDAR display, the watch may stop operating in 2 to 3 days. In that case, immediately have the battery replaced with a new one by the retailer from whom the watch was purchased.

## Remarks on Battery

### 1. Notes on the battery

#### (1) Battery life

This watch keeps operating for approximately 3 years if a new normal battery is inserted in it.

- ※If the alarm is used more than 20 seconds a day, the Panelight (illuminating light) more than 3 seconds a day and/or the stopwatch more than 1 hour a day, however, the watch may run down in less than 3 years.

#### (2) Monitor battery

The battery in your watch is a monitor battery which is inserted at the factory to check the function and performance of the watch. Its actual life once in your possession may be less than the specified period.

#### (3) Battery replacement

- For battery replacement, be sure to have the battery replaced with a new one at the retailer from whom the watch was purchased, specifying a genuine SEIKO battery.
- If the old battery is left in the watch for a long time, a malfunction may be caused due to battery leakage, etc. Have it replaced with a new one as soon as possible.
- Battery replacement is made at cost even if it runs down within the guarantee period.

## After-Sale Service

### ● Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.
- For repair services after the guarantee period has expired, if the functions of the watch can be restored by repair work, we will undertake repair services upon request and payment.

### ● Replacement parts

- SEIKO makes it a policy to typically keep a stock of replacement parts for this watch for 7 years. Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch. Please keep in mind that if original parts are not available, they may be replaced with substitutes whose outward appearance may differ from the originals.

● **Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)**

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 3 to 4 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate; abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly; or the watch itself may stop. As the parts such as the gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.
- When your watch is inspected and adjusted by disassembly and cleaning (overhauled), the movement of your watch may be replaced.

● **Panelight (EL: electroluminescence)**

The brightness of the electroluminescence (EL) panel used for the Panelight (illuminating light) will decrease when the battery voltage becomes low. It will also decrease gradually with use.

※The brightness of the EL panel will decrease by half after a total of approximately 120 hours of lighting. If the Panelight (illuminating light) becomes too dark while in use, first replace the battery with a new one. If it is still too dark after battery replacement, replace the EL panel with a new one. Consult the retailer from whom the watch was purchased for panel replacement. A fee will be charged for replacement.

● **Liquid crystal panel**

The normal life expectancy for the liquid panel of the watch is approximately 7 years. After that, it may decrease in contrast, becoming difficult to read. Consult the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the liquid crystal panel. A fee will be charged for replacement.

**Troubleshooting**

Problem	Possible cause	Solution
The watch has stopped operation. The display remains blank.	The battery has run down.	Immediately request the retailer from whom the watch was purchased to replace the battery with a new one.
The watch gains or loses occasionally.	The watch was left in high or low temperatures.	Normal accuracy will resume when the watch returns to normal temperatures. If the problem persists, consult the retailer from whom the watch was purchased.
While using a watch mode, the data set or obtained in it is reset by turning the rotating bezel to change the mode to another.	In the following cases, turning the rotating bezel to change the mode will reset the data set or obtained in respective modes: · During stopwatch measurement, the mode is changed to other than Time/Calendar or Alarm. · During tachymeter measurement, the mode is changed to another. · During timer operation, the mode is changed to another.	Change the mode after the measurement or operation in respective modes is completed.

Problem	Possible cause	Solution
The distance to travel set in the Tachymeter mode is reset.	The rotating bezel is turned to change the mode.	Once the Tachymeter mode is changed to another, set the distance to travel again.
The average speed is not displayed properly.	The average speed is out of the measurable range.	The tachymeter can measure the average speed from 0 to 999.9 km/h. If the measurement is out of that range, "--- km/h" is displayed.
	"0" is set for the distance to travel.	When "*** km" on the rotating bezel is selected, "000.0 km" is shown on the display as the initial distance value. Set the desired distance (refer to P. 82).
The countdown time set in the Timer mode is reset.	The rotating bezel is turned to change the mode to another.	Once the Timer mode is changed to another, set the countdown time again.

Problem	Possible cause	Solution
The timer continues counting down the set time endlessly.	The timer has a repeat function that repeats counting down the set time unless it is stopped manually.	Stop the timer manually, or turn the rotating bezel to change the mode to another. The timer measurement is reset automatically.
All the segments of the display start flashing.	It indicates that the battery is nearing its end.	Immediately request the retailer from whom the watch was purchased to replace the battery with a new one.
Blur on the watch glass persists.	Water has entered inside the watch due to a deteriorated gasket or for any other reason.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.

## Specifications

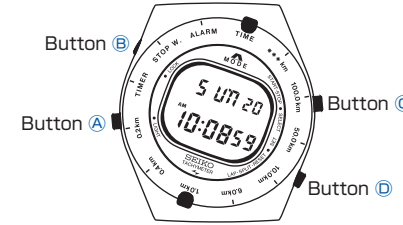
- Frequency of crystal oscillator... 32,768 Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
- Loss/gain (monthly rate)..... Less than 20 seconds at normal temperature range (between 5°C and 35°C)
- Operational temperature range... Between -10°C and +60°C (Temperature range for display function between 0°C and +50°C)
- Display system
  - Time/calendar mode..... Date, day of the week, AM/PM mark (in 12-hour format), hour, minutes and seconds (Alarm mark and hourly time signal mark)
  - Alarm mode..... Designated alarm time (hour and minutes), A/P (in 12-hour format), current time, and AM/PM mark (in 12-hour format) (Alarm mark and hourly time signal mark)
  - Stopwatch mode..... Measures up to 99 hours, 59 minutes and 59 seconds in 1/100-second increments (in 1-second increments after 60 minutes). Split time and accumulated elapsed time (Alarm mark and hourly time signal mark)
  - Timer mode..... Counts down in 1-second increments. Up to 99 hours and 59 minutes can be set in 1-minute increments. Current time and AM/PM mark (in 12-hour format) (Alarm mark and hourly time signal mark)
  - Tachymeter mode..... Distance to travel: can be either selected from 7 preset distances (0.2, 0.4, 1.0, 6.0, 10.0, 50.0, and 100.0 km) or set as desired up to 999.9 km in 0.1-km increments (in "km" mode). Measured time (up to 99 hours, 59 minutes and 59 seconds), average speed (from 0 to 999.9 km/h), lap time, lap number, distance and speed marks, lap mark, lap number mark, and error indications (Alarm mark and hourly time signal mark).
- Display medium..... Nematic Liquid Crystal, FEM (Field Effect Mode)
- Battery..... SB-T11, 1 piece
- Battery life..... Approximately 3 years (under the conditions below: alarm ... 20 seconds/day; Panelight ... 3 seconds/day; and stopwatch ... 1 hour/day)
- Illuminating light..... EL (Electroluminescent light)
- IC (Integrated Circuit) ..... Oscillator, frequency divider, driving and EL circuit, C-MOS-IC, 1 piece

※The specifications above are subject to change without prior notice for product improvements.

## How to Reset Built-In IC

In case the watch shows an abnormal display, follow the procedure below to reset the built-in IC. The normal display will resume.

- Press and hold Buttons A, B, C and D simultaneously for more than 2 seconds. When the display becomes blank, release all the buttons.



- The built-in IC is reset. When the normal display appears instead of the blank display, the Time/Calendar display of the Time/Calendar mode is shown. It starts counting from 12:00 am on January 1, 2018. To use the watch with an accurate time indication, be sure to set the time/calendar after resetting the built-in IC.

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル  
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>